

第4事業年度(2021年10月1日～2022年9月30日)

事業報告

1. 事業目的

昨期同様にアジア、アフリカ¹の恵まれない子どもたち、女性、青年たちの教育、健康等に関するを中心に支援活動をいたしました。加えて支援先東チモールより多くの情報を得るために視察訪問をいたしました。

- アフリカ支援では、特に度重なる内戦、疫病、自然災害に苦しむコンゴ民主共和国（以下 RDC と記す）の東部地方を重点的に行っています。支援は、聖マリア女子修道会を通して実施されています。
- アジア支援の一つカンボジア支援は、ポル・ポト政権時の悲惨な内戦終了から40年以上経つ今、ますます貧富の差が拡大し、農村部では子どもたちの教育や生活環境はいまだ改善が遅れています。特にシェムリアップ近郊に位置する貧しい村を対象に継続的に支援を行っています。この支援は現地イエズス会の司祭を通して実施されています。
- 東チモール支援は、アタウロ島の子ども、女性、青少年たちを対象に教育、医療面についての環境整備等の支援を行っています。支援は、聖マリア女子修道会を通して実施されています。

2. 会員と収益について

現会員数： 626名（前年同月増減+2名）

退会者数： 16名（2018年設立時から累計、亡くなられた方も含む）

収益に関しては、別紙決算報告書を参照。

3. 活動について

3-1. 定期活動

理事会 3回（臨時会議含む。電話会議および Zoom 等のビデオ会議も利用）

スタッフ会議 7回（電話会議および Zoom 等のビデオ会議も利用）

3-2. 対外事業活動

- カンボジア事業
 - 2022年6月24日 シェムリアップ教会へ通常支援金送金（教区内の学校教育支援 etc.）
 - シェムリアップ教会主任司祭から事業報告および近況レポート（広報誌4号参照）があった

¹ 従来、アフリカ、カンボジアという標語を使っていたが、今期から東チモールの支援を正式に加えることになったためアジア、アフリカと名称を変更した

- アフリカ事業
 - 2022年6月24日 聖マリア修道女会アフリカ管区に通常支援金送金（子どもたちの教育、食糧支援 etc.）
 - アフリカ管区長より支援金についての事業報告および現地の近況レポート（広報誌4号参照）があった
- 東チモール事業
 - Sr.荒井から、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が停止されていたが、2022年1月より活動ができるようになったとの連絡をいただいた
 - 2022年8月、アタウロ島の情報収集のために視察を行った（視察者は1名）。今後の支援の在り方を考える上で実りある視察だった
- ウクライナへの緊急支援
 - 2022年3月15日 国際NGO イエズス会難民サービス（JRS）へウクライナの為に支援金を送金。それに対して「ご支援は難民の方々の希望に繋がる」とJRSからメールいただいた

3-3. 各活動部門の報告

- 総務部門の活動
 - 会議録の作成及び重要書類を含むこれらの整理・保管
 - 会員名簿管理
 - 封筒、切手、振込用紙等の発注、在庫管理
 - 支援者へのお礼状送付
 - Kids&Smile 代表電話の対応
 - 会報誌の発送業務
- 財務部門の活動
 - 会計ソフトを利用しての会計処理の定着、また処理上の問題点などは税理士と定期的にオンラインミーティングを行い対応した
- 情報管理部門の活動
 - Kids&Smile サーバのセキュリティ強化を図った（特にWebサイトについて）
- 広報部門の活動
 - 広報誌 Smiling 第4号（2022年3月）および News Letter2号（2022年9月）を発行した
- 企画部門の活動
 - 12月25日（土）“ART SQUARE –笑顔をつなぐために–”【主催：N2 PROJECT

（川村良彦、奥井奈緒子）】のイベントに参加させていただき、Kids & Smile の広報活動および物品販売を行った

- 企画会議をオンラインで5～6回行った
- 2022年版カレンダー作成・販売を行った
- 2023年度版カレンダーについて作成計画を9月から開始した
- オンライン報告会の実施に向けて計画を行った（実施は次年度10月23日に行うと決定）
- 今期は試みに Google フォームを使い参加者の募集、アンケートなどのデータ収集のフォーム作成
- 2024年度版カレンダーについて計画行い、現在「カンガス神父様からいただいたメッセージ」というテーマで募集進行中、次年度へ継続（Google フォームおよびメール）

3-4. 支援者への啓発活動

今期も新型コロナウイルス感染対策などにより支援者との連携活動を実施できなかったが、今期末にオンライン報告会の実施を計画し準備を行い、来期初めに実施予定（10月23日）に決まった。

4. 特別支援金について

昨期、支援者から大口の寄付を頂いた。そのご寄付の一部をカンボジアとコンゴ民主共和国へ送金した。今期、残金についてどのような利用の方法があるか検討を重ねている。

以 上

第5事業年度(2022年10月1日から2023年9月30日)

事業計画

第5事業年度は、困窮する支援先に対する継続的支援の責任を果たすべく、他国や日本の新型コロナウイルス感染対策を考慮しながら徐々に積極的に活動を行っていきたいと考えております。そのことを念頭に置きながら以下の事業計画を予定しております。

1) 総務関係

- 理事会開催 定例3回/年、なお、必要に応じて臨時理事会を開催する
- スタッフ定例会 12回/年(毎月1回) 予定
- 年次総会 2023年12月頃を予定
- 情報管理と連携し希望する会員へ種々の情報をメール配信する予定
- 消耗品等の在庫管理を電子的に行うことを予定

2) 財務関係

- 今年度内に1~2回、アフリカ、カンボジア、東チモールに通常支援金を送金予定
支援金額については、当該時の資金状況により検討する。また、送金時期については当該時の為替ルート状況を注視しながら時期を判断する
- 東チモールへの特別支援金については現地状況等を把握の上検討する
- 今後の外貨建預金などを念頭に、みずほ銀行に外貨預金口座の開設予定

3) 広報関係

- 広報誌 Smiling 2回/年 発行予定
- News Letter 不定期(随時) 発行

4) 情報管理関係

Kids&SmileのWebサイトの大幅改定

5) 企画関係

前期からの継続案件および新規事業案を挙げた

- 2024年版日めくりカレンダーの企画を続行する
- 支援者からの希望が多い、コンサートなどの実施を積極的に検討
- 小規模講演会、報告会の実施 人数制限やビデオ会議開催と組み合わせるなど感染対策

を前提として実施予定

- 他の NPO などの活動家の方などを交えた勉強会を予定

6) 渉外関係

世界の新型コロナウイルス感染対策は徐々に緩和されつつある。そこで当会も支援地訪問を考えていくべきだと思っている。感染状況や支援先現地の受け入れ状況などを十分に調べ、今期から積極的に柔軟に活動を考えていく。

- カンボジア訪問（ボランティア体験）可能性大
- 東チモール訪問（現地視察およびボランティア活動）可能性大
- コンゴ民主共和国訪問（現地視察）可能性は微妙である。可能であっても極少人数に限られる

以 上